

「人間関係プログラム」Q&A

Q「人間関係プログラム」の成果はどうなっていますか？

A「人間関係プログラム」に係る調査で、児童生徒は次のように回答しています。

「人間関係プログラム」に係る調査集計結果（5年4月調査）より ※質問に「全くそのとおり」と回答した児童生徒の割合

A
私のクラスは、
明るくて楽しい
クラスです。



A
私は、
自分のことが
好きです。



「人間関係プログラム」チェックリスト

- 誰かが話しかけてきたとき、自分のしていることをやめて、話を聞きます。
- 相手に体を向けて話を聞きます。
- しっかり相手の顔を見て、話を聞くことができます。
- うなづいたり返事をしながら相手の話を聞きます。
- 自然に相手の目を見て、自分の気持ちや考えを伝えることができます。
- はっきり「ありがとう」と言えます。
- 相手のことを考えて話ができます。
- 場にふさわしい話し方ができます。



詳しくは…

さいたま市教育委員会学校教育部指導2課

〒330-9588 埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号 TEL.048-829-1668

このプログラムは95,000部印刷し、1冊あたり80部配布予定です。



さいたま市では、児童生徒のコミュニケーション能力の育成と、自己開示・自己表現が安心して行える信頼感に満ちた学級づくりを目指して「人間関係プログラム」の授業を実施しています。

あなたはこのようなとき、どのように対応しますか？

友だちから、自分がまだ読み終わっていない本を貸してよと言われてしまいました。次の土・日曜日で読みたいと思っていたので断りたいと思っています。このときのじょうずな断り方について考えましょう。（じょうずな断り方の例は、このリーフレットの中にあります。）



どちらの表情が話しやすいでしょうか？



「人間関係プログラム」では、相手が元気になる話の聴き方を体験し学習します。



さいたま市教育委員会

さいたま市

「人間関係プログラム」とは！



人と接する際に必要な姿勢・態度、感情のコントロールの仕方、相手の感情を読み取る仕方などについて楽しく学び、日頃の授業や行事などをはじめとする直接体験の場で定着を図ります。

「人間関係プログラム」の授業

■実施学年

- 小学校3・4・5・6学年の全児童
- 中学校1学年の全生徒

■実施時数

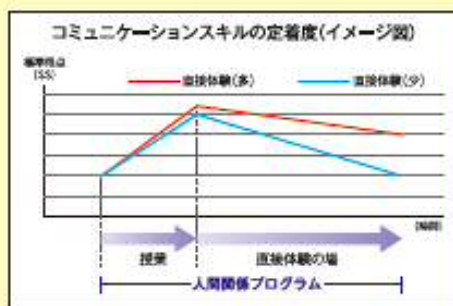
- 小学校は、各学期はじめに6時間の授業を実施
- 中学校は、1学期はじめに6時間、2・3学期はじめに各3時間の授業を実施

■実施方法

- 学級担任が指導します。

快適なコミュニケーションをするための技術(スキル)の定着度

「人間関係プログラム」で学んだスキルの定着度は、下図のように、時間の経過にしたがって変化することが予想されます。授業や行事などの学校生活でスキルを生かすことはもちろんのこと、家庭や地域の中でも、繰り返しプログラムで学んだスキルを生かすことが大切です。



家庭や地域の方へお願い

たとえば、ご家庭でお子様と話をする際に、お子様が保護者の方を見ずに話を聞いていたときには「話を聞くときは、話をするの方を見るのですよ。」と諭してください。ご家庭や地域が学校と連携して、プログラムで学んだことを日頃の生活の場(直接体験の場)で生かしていくことが大切です。



あなたはこのようなとき、どのように対応しますか？

友だちから、自分がまだ読み終わっていない本を買ってよと言われてしまいました。次の土・日曜日で読みたいと思っていたので断りたいと思っています。このときのじょうずな断り方について考えましょう。

「ごめんね。実はその本は読み終わっていないんだ。だからもう少し待ってよ。再考なら買わせるからうよ。」



子どもとのコミュニケーションできていますか

親子支援プログラム

子どもたちが学校の「人間関係プログラム」の授業で学んだ「人と接する際に必要な様々なスキル」を定着させるためには、家庭における温かい親子のふれあいやコミュニケーションが大切です。

「親子支援プログラム」では、役割演技やグループ討論等を通して、子どもとのコミュニケーションについて考えます。

▼こんなことを考えます

- 子どもの話の聴き方
- 子どもの話に対する同調や共感の仕方
- 子どもとのスキンシップの仕方
- 家庭で子どもに接する際の自分について
- 親心、大人心、子ども心の3つのバランス
- 子どもへの声のかけ方
- 叱り方、ほめ方
- 親子の対話の基本 など

家庭教育学級やPTA 委員会、各学校のPTAの集会等で体験講座を実施します。

